

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 新得工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	単価表 11～13 番「高盛土排水工」 高密度ポリエチレン管はシングル管・ダブル管のどちらでお考え でしょうか。ご教示お願い致します。	「共通仕様書 5-4-1」及び「土工施工管理要領 VI.用排水構造物 表VI-4 排水管の品質管理の種別(2)」に規定する材料になり、2 重管構造です。
2	単価表 10 番「高盛土排水工」のり尻工 A 特記仕様書 18-1-(5) 高盛土排水工に使用する材料 図面「参考図 12/40」 高盛土排水工 高盛土排水工に使用する材料は購入材と考えて宜しいでしょう か。 基盤排水工・のり尻工は割栗石(150～200)、水平排水層は切込砕 石(C-40)。ご教示お願い致します。	高盛土排水工に使用する材料は特記仕様書 18-1 「盛土材等」に規 定する材料を使用し、御社の施工計画に基づきお考えください。 なお、のり尻工は特記仕様書 18-1 「盛土材等」の規定する材料 となる割栗石もしくは砕石としております。
3	図面「参考図 29/56」ペンケオタソイ橋(下り線) P-1 橋脚仮設図 特記仕様書 30-2-5 構造物掘削 (3)土留工の種別 構造物掘削(特殊部 B)の鋼矢板種別が図面と特記仕様書で相違 があります。どちらが正と考えれば宜しいでしょうか。 (exp. 図面には矢板長さ L=21.0mに9ヶ所継があるが特記仕様 書にはそれに該当する種別が無のですが。)ご教示お願い致しま す。	設計図が正となります。 なお、R3.11.9 付けで交付図書を訂正しており、「特記仕様書」をご確 認ください。

4	<p>図面「参考図 35/56」ペンケオタソイ橋（下り線）A-2 橋台仮設図 特記仕様書 30-2-5 構造物掘削 (3)土留工の種別 構造物掘削（特殊部 D）の鋼矢板種別が図面と特記仕様書で相違 があります。どちらが正と考えれば宜しいでしょうか。 （exp. 図面には矢板長さ L=17.5m及び 19.5mは「1ヶ所継ぎ」 だが、特記仕様書には継杭箇所が「ー」になっていますが。）ご教 示お願い致します。</p>	<p>設計図が正となります。 なお、R3.11.9 付けで交付図書を訂正しており、「特記仕様書」をご確 認ください。</p>
5	<p>単価表 42 番 場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1.000）の数量は 486.5m なので単価表の数量は 487mでは無いでしょうか。ご教示お願い 致します。</p>	<p>土木設計数量算出要領 第2章2-1に記載のとおり、場所打ちコン クリート杭（機械掘削、φ1.000）の設計数量は 486mとして算出くだ さい。</p>
6	<p>図面「広内トンネル 51/76」覆工防水工図(4)（避難連絡坑） 数量表中の形状寸法で「覆工防水工 A(B)」となっていますが、 「覆工防水工 A(K)」ではないでしょうか。 また、それに対応する単価項目がありません。そして避難連絡坑 の覆工防水工 78.0m² が計上されていないと思われます。別途精 算と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>覆工防水工 A（B）は本坑のみを計上しております。 なお、避難連絡工の覆工防水工は、監督員が必要と指示した場合につ いては、設計変更の対象となります。</p>
7	<p>単価表 141 番 図面「橋梁下部工 ペンケオタソイ川橋 69/69」P-2 橋脚洗掘防止 対策工 既設 I 期線 P3 橋脚の既設笠コンクリート撤去・既設天端コンクリ ート撤去も「洗掘防止対策工」に含むのでしょうか。 含まない場合別途精算と考えて宜しいでしょうか。 また、含む場合撤去したコンクリート殻は処分と考えて宜しいで しょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>既設 I 期線 P 3 橋脚の既設笠コンクリート撤去・既設天端コンクリ ート撤去も「洗掘防止対策工」に含みます。また、発生するコンクリート 殻について、積込運搬・処分費は本単価項目に含みます。</p>
8	<p>単価表 141 番「洗掘防止対策工」 図面「橋梁下部工 ペンケオタソイ川橋 69/69」P-2 橋脚洗掘防止 対策工 根固めブロック 2.0 t 型は現地製作でお考えでしょうか。 その場合コンクリートの強度をご教示願います。</p>	<p>根固めブロック 2.0 t 型はプレキャスト製品となります。</p>

9	<p>図面「橋梁下部工 広内川橋 88/108」 仮橋部材表内の覆工板の数量ですが、落込式と緊結式が逆ではないでしょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>設計図が正となります。 なお、R3.11.9 付けで交付図書を訂正しており、「特記仕様書」をご確認ください。</p>
1 0	<p>割掛対象表 橋梁下部工施工ヤード造成費 図面「参考図 施工ヤード造成図 15,16,38～41/56」 施工ヤード造成図に記載の施工数量をまとめると「切土 5,522.8m³、盛土 3,112.8m³、切込碎石路盤（t=20cm）253.0m²、敷砂利（t=10cm）2,921.0m²、大型土のう 126 袋」となります。 「割掛対象表 参考内訳書」に記載されている数量とで差違が有ります。参考数量を正とすれば宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>参考図 施工ヤード造成図 15,16,38～41/56 が正となります。</p>
1 1	<p>割掛対象表 橋梁下部工施工ヤード造成費 図面「参考図 施工ヤード造成図 15,16,38～41/56」 施工ヤード造成で発生する土砂は盛土部に流用し、その残土は本線盛土と考えて宜しいでしょうか。 また、施工ヤード使用終了後は存置と考えて宜しいでしょうか。撤去する必要がある場合、土砂の不足分は土取場からの運搬と考えると宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>施工ヤード造成で発生する土砂・残土は御社の土配計画に基づき計上ください。工事終了後の施工ヤードを撤去するのは、広内川橋 A 1、ペンケオタソイ川橋 A 1 橋台部とし、それ以外は存置とします。なお、施工ヤード撤去時に発生する土砂は御社の土配計画に基づき計上ください。</p>
1 2	<p>割掛対象表 橋梁下部工施工ヤード造成費 図面「参考図 施工ヤード造成図 15,16,38～41/56」 施工ヤードに使用する切込碎石路盤材及び敷砂利は再生クラッシュラン（RC-40）と考えて宜しいでしょうか。 また、撤去する必要がある場合、本線の路体盛土と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>「割掛対象表 参考内訳書」の「橋梁下部工施工ヤード造成」に記載されている盛土材料は規定しておりません。盛土材料は御社の施工計画に基づきお考えください。 施工ヤード撤去する際に再生クラッシュラン（RC-40）使用した場合、本線路体盛土への流用は不可となります。</p>
1 3	<p>割掛対象表 橋梁下部工施工ヤード造成費 図面「参考図 施工ヤード造成図 15/56」 割掛対象表 参考内訳書には広内川橋 A1、P3-2 箇所とありますが、図面 15/16 の図面及び数量表では P1・P2 橋脚にも敷砂利（t=10cm）を施工する様に表示されていますが、今回は別途と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。</p>	<p>施工ヤード造成工の施工に含まれております。</p>

14	割掛対象表 仮設防護工 避難連絡坑抗口付近に設置する仮設壁は設置のみと考え、単管パイプ等は購入と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。	そのとおりです。
----	--	----------